

わたし 私たちは、スマートなどを正しく利用するために次のことを
せんげん 宣言します。

- 1 個人を特定できる情報はSNS等に書き込みません。
- 2 相手が嫌な気持ちになるようなことや、直接言えない
ようなことは書き込みません。
- 3 知らない人と危険なことにつながるようなやりとりをし
たり、会ったりしません。
- 4 フィルタリングをかけます。
- 5 移動中や勉強・食事の時に「ながらスマホ」はしま
せん。
- 6 スマホ等の使用は遅くとも寝る30分前までとします。
(寝る時間は保護者と相談して決めます)
- 7 迷ったり困ったりしたときは、必ず保護者や周りの大
人に相談します。



とうあんぜんりよう
スマホ等安全利用のための合言葉

か

かおみきけんし
顔が見えない危険を知ろう。

が

がめんごことばえらき
画面越しだからこそ、言葉選びに気をつけよう。

や

やくそくほごしゃき
約束を保護者と決めよう。

ねじかんかきんかんり
(寝る時間、フィルタリング、アプリ、課金、パスワードの管理など)

ス

つかスマートに使おう。

とき
(時間のメリハリをつけられる)

マ

まちがじょうほう
間違った情報にまどわされない。

木

ほごしゃまわおとなそうだん
保護者や周りの大人に相談しよう。

つしちゅうがくせい
津市中学生リーダー研修会では、平成27年に先輩たちが作成した「津市

ちゅうがくせいあんぜんりようせんげんもとかくこうかだいとうけんとうわたし
中学生ケータイ安全利用宣言」を基に、あらためて各校で課題等を検討し、私

げんじょうせんげんはなあせんげんさくせい
たちの現状をふまえた宣言になるように話し合い、この宣言を作成しました。

しょうちゅうがくせいほごしゃかたちいきみなさまきょうりょくねが
小・中学生、保護者の方、地域の皆様もぜひご協力ををお願いします。

せんげんさくせい じ こ おも

宣言作成時に込めた思い

- 中学生だけでなく、小学生もスマホ・タブレット等を利用していいる状況があるため、宣言の対象を小中学生としました。
- 外国につながる仲間や、小学生にも分かりやすい言葉を選び、ルビを入れて作成しました。
- 様々な家庭があることから、「親」という表現を「保護者」に統一しました。
- タブレット端末を使用することが当たり前となつたため、身の回りに潜む様々な危険を考えて宣言を作成しました。
- 写真やプライバシーにかかわる内容を勝手に他の人に送ってしまうことを無くしたいと考えました。
- パスワードを使いまわしたり、友だちに教えてしまったりしている状況があるので、セキュリティに気を付けてほしいと考えました。
- 個人情報がネット上にあげられると消すことが難しくなります。また、ネットの匿名性により、悪口も書きやすい状況が生まれています。自分できちんとと考えてSNS等を利用できるようにしたいと考えました。
- スマホ等は便利ですがセキュリティ面では不安なこともあります。保護者にお願いしてフィルタリングをかけて利用してほしいと考えました。
- 自転車を利用する人が多いため、スマホ等の「ながら運転」や「ながら歩行」等の「ながらスマホ」による交通事故を防ぎたいと考えました。

- 教科書のQRコードを読み取る、授業内容を確認する、分からぬこと
- を調べるなど、スマホやタブレットは勉強に必要なものとなっています。
- 音楽を聴きながら、動画を流しながらなどの使い方をせず、勉強を頑張る
- 小中学生になってほしいと考えました。
- 食事中は会話や食事に集中してほしいため、食事中は使わないという
- 内容も宣言に入れました。
- スマホ等を就寝の直前まで使っていた場合、翌日の寝起きがつらくなるという文部科学省の調査結果があります。遅くとも30分前には使用をやめて、目や脳をしっかり休ませることが大切だと考えました。
(学校独自のアンケートを取った結果、3分の1の生徒が寝不足と答えた
- 学校もありました)
- 津市では、ゲームやSNS、動画視聴をしている時間が全国や三重県と比べて高い状況があり、スマホ等の使い方について保護者との約束はないと答えた割合も高いため、保護者と約束を決めて相談しながら使ってほしいと考えました。
- 宣言の内容をより分かりやすく、覚えやすくするために「かがやくスマ
- ホ」を頭文字にした合言葉も考えました。
- 一人一人が「自制力」を持つことが大切だと話し合いました。
- 「自制力」とはどのようなことか皆さんも考えてみてください。